



シートベルト着用推進キャンペーン

＝ 6月1日～30日 ＝

県内88ヶ所に「セーフティ・チェックエリア」を設け県下一斉に広報・指導活動等を行います。

命を守るのはあなた自身です

県内死亡事故多発

交通事故は
一瞬にして尊い命を奪います。
私達はいつ、
加害者や被害者になるかも知れません。
ハンドルを握ったら真剣に！
後で後悔しても始まりません……。

全国ワースト1

今年の5月21日現在、県内の交通事故発生件数は1万1,405件、傷者数1万4,173人、死者数206人で、前年より多くなっています。

死者数は2月末頃から全国ワースト1位です。交通事故で死亡した人のうち、約7割がシートベルトをしていませんでした。

シートベルトは、万一の時の命綱、救命効果は40％と言われ、シートベルトをしていれば約4割の人の命が助かったと思われま

す。町では、昨年5月30日・6月13日・28日の3日間シートベルトの着用率実態調査を行いました。その結果は40.4％と県下平均(54.8％)を下回っています。

今年に入り八日市場警察署管内では、八日市場市で3人、野栄町で2人が死亡する事故が発生しています。若者、お年寄りの死者が

増加していて、時間帯では夜間に多く発生しています。光町での死亡事故はありませんが、すでに人身事故22件(昨年19件)、物損事故63件(昨年47件)と多発しています。

これ以上、交通事故を起こさないためにも、私たち一人ひとりが交通ルールを守り、安全運転に心掛けることが大切です。

運転者の心掛け

- 安全速度を必ず守る
- シートベルトの着用
- 一時停止して安全確認
- 飲酒運転はしない
- 夜間は歩行者に注意

歩行者・自転車利用者の心掛け

○夜間の外出時は、明るい服装で反射材を身につける。

町内の着用率実態調査(8年)

場所：橋場十字路 午前9時～10時

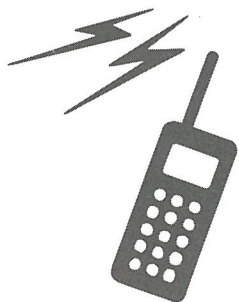
調査日	5月30日・6月13・28日			県下87ヶ所平均着用率(%)
	調査台数	874台		
区分	調査人数(人)	着用人数(人)	着用率(%)	
運転席	874	359	41.1	56.1
助手席	86	29	33.7	46.3
合計	960	388	40.4	54.8

携帯電話使用中の交通事故

県内で112件

「モシ・モシ…」運転中に携帯電話を使用中の事故が増え、県内では昨年112件、死者2人、傷者数169人ありました。

事故は、かかってきた電話を取ろうとした時が42.9％と最も多く、かけようとした時28.4％、通話中が18.1％となっています。電話で話しながらの運転は、話に気をとられ前方の注意がおろそかになります。携帯電話は車を停止してからどうぞ！



フリーマーケット
7/27(日)

出店者募集中!

場所 役場前駐車場

問合せ

商工会 ☎1661